

Victorian Certificate of Education
2015

SUPERVISOR TO ATTACH PROCESSING LABEL HERE

STUDENT NUMBER

								Letter
--	--	--	--	--	--	--	--	--------

JAPANESE
FIRST LANGUAGE
Written examination

Monday 2 November 2015

Reading time: 11.45 am to 12.00 noon (15 minutes)

Writing time: 12.00 noon to 2.00 pm (2 hours)

QUESTION AND ANSWER BOOK

Structure of book

<i>Section</i>	<i>Number of questions</i>	<i>Number of questions to be answered</i>	<i>Number of marks</i>	<i>Suggested times (minutes)</i>
1	1	1	25	30
2	1	1	30	40
3	5	1	25	50
			Total 80	120

- Students are permitted to bring into the examination room: pens, pencils, highlighters, erasers, sharpeners, rulers and any printed monolingual and/or bilingual dictionary in one or two separate volumes. Dictionaries may be consulted during the reading time and also during the examination.
- Students are NOT permitted to bring into the examination room: blank sheets of paper and/or correction fluid/tape.
- No calculator is allowed in this examination.

Materials supplied

- Question and answer book of 18 pages, including **Assessment criteria** on page 18.

Instructions

- Write your **student number** in the space provided above on this page.
- Write all your answers in the spaces provided in this question and answer book. The spaces provided give you an idea of how much you should write.

Students are NOT permitted to bring mobile phones and/or any other unauthorised electronic devices into the examination room.

THIS PAGE IS BLANK

THIS PAGE IS BLANK

TURN OVER

SECTION 1 – Listening and responding**Instructions for Section 1****Text 1, Question 1 (25 marks)**

You will hear one text. It will be played twice. There will be a pause of approximately five minutes between the first and second playings of the text. You may make notes at any time.

Listen carefully to the text and then answer the questions in **JAPANESE**.

TEXT 1**Question 1**

- a. 会話の中で佐藤は自分の会社のどんな点について話しているか。また、その効果について、どう言っているか。

- b. 木村は佐藤の会社でのその制度について、自分の会社にあったら利用すると言っているか。理由も述べよ。

- c. お昼寝カフェとは何か。特徴を3つ挙げよ。

1.

2.

3.

- d. 厚生労働省が推奨していることは何か。

You may make notes
in this space.

- e. 健康面から、二人は会社が昼寝を認めることについてどう思っているか。
150 字前後で説明せよ。

You may make notes
in this space.

SECTION 2 – Reading and responding

Instructions for Section 2

Texts 2 and 3, Question 2 (30 marks)

Read the two texts and then answer the question in 900–1100 *ji* in JAPANESE.

TEXT 2

「静かな改革者」が社会を変える

日本で「政治」というとつい選挙とデモの話ばかりになってしまう。だけど現代は無数の社会の変え方がある時代だ。現にデモなんかに参加しなくても、一部の若者は勝手に社会を変え始めている。

地道に震災復興支援を続ける。カンボジアに病院を作る。フェアトレードを通して途上国を支援する。コンゴに学校を作り日本語を教える。

革命的に社会を変えずとも、既存の仕組みに風穴を開ける方法はいくらでもある。それは、自分の食い扶持も稼げずに国家語りや社会語りをして、何かをしたつもりになっていた 1960 年代の若者よりも、よっぽど真面目に社会を変えているとも言える。

社会学者のトゥーッカ・トイボネンは「静かな変革者 (quiet maverick)」という概念を用いて、日本の若者達の「革命」に注目する。

たとえば、「Youth for 3.11」という学生団体は東日本大震災直後から、学生達が集まり継続的に被災地支援を続けている。その外にも社会的企業として有名な「フローレンス」や「マザーハウス」など、いくつもの若者発の「革命」が始まっている、とトイボネンは主張する。

「革命」という言葉は少し大げさに聞こえるかも知れない。彼らは 1960 年代に起こった学生運動とは違って、大声で社会変革を訴えないからだ。体制の変革になんて興味がないようにも見える。

だけど、それこそが現代の「革命」にとっては重要なのだ。日本で、わかりやすい「反権力」運動が成功したことはない。それを学んだ「静かな変革者」たちは、既存の社会システムと協調することを好む。行政に協力を仰ぎ、時には共に行動する。

僕も「静かな変革者」に対するインタビューをよく行うが、彼らは「社会にいいことをしたい」とか「国のために何かしたい」とはあまり言わない。そんなのは、彼らにとってもはや自明のことだからだ。当たり前のように被災地支援をしたり、自然エネルギーの啓蒙活動に取り組んだり、地域の教育問題を解決しようとしている。

彼らは、大きなことを言わない代わりに、肅々と身の回りの 100 人、1000 人を確実に幸せにしている。だけど、その活動は規模が小さい分、あまり目立たない。

(『だから日本はズレている』古市憲寿 2014 新潮新書 566)

You may make notes
in this space.

TEXT 3**ゆとり世代はそんなに不幸なのか**

世代論自体を否定する説もあるが、平成生まれは「ゆとり世代」とくられ論じられることが多い。「ゆとり世代」とは 2002 年に改定された学習指導要領に沿って教育を受けた世代を指し、1987 年から 2003 年生まれがそれに該当する。この通称「ゆとり教育」は 1980 年代の詰め込み教育による子どもへの精神的負担の反省から、学校教育の学習内容と授業時間を減らし、体験に比重を置いて子どもの個性を伸ばす教育方針に切り替えたものだった。2003 年には OECD によって実施された PISA のスコアが大幅に低下し、日本人の学力低下が騒がれた。

ゆとり世代は叱られたことがないため精神的に弱く覇気がない、または草食系などと言われる。相手と競争するよりも同調を重視し、また SNS 育ちであるため仲間・友人からの承認欲求が強くそれは時として生死にも関わるほどだ。さらに、何事もコストパフォーマンスで考えるため割りに合わない判断すると旅行もせず恋人も作らず結婚もしない。車も欲しがらず、シーズン毎にスキーウェアを買い換えたバブル世代のことを阿呆だと思っている。盗んだバイクで仲間と暴走するなどまずない。

もちろん選挙投票も無駄足だと考えている。ゆとり世代は少子化で人口が少なく、投票しても若者の声は政治に反映されない。つまりコスパが悪いのだ。何に対しても受け入れ態勢で世の無常として対処していく。このような社会への態度がゆとり世代がさとり世代とも言われている所以でもある。こんな世代が大人になって日本を支えていけるのだろうか懸念される。

ゆとり世代はそんなにかわいそうなのか。自らをゆとり世代の代表として税所篤快氏は著書の中で、「僕たちは、すばらしい国、すばらしい時代に生まれた。僕達ほど世界で自由を謳歌できる世代は、いままでの日本にはいなかった」(「ゆとり世代の愛国心」PHP 新書 2014)と述べている。これは税所氏が未承認国家ソマリランドで活動中に記したものだ。日本のパスポートを持っているだけで簡単にビザを取得でき、どんな僻地へ行っても日本人だからというだけで歓迎を受けるのは先人らのその土地での真摯な活動の恩恵だと言い切る。いつでもネットで友人らと会話ができる。国境や時差を越えて自由に活動できること、この時代に日本人として生まれてきたことに感謝している。

ゆとり世代のものの考え方を研究している原田曜平氏によれば、この世代の若者当人らは世間で言われているほど自分達を悲観していない。2013 年に内閣府によって実施された「国民生活に関する世論調査」では、現在の生活に「満足している」と答えた 20 代の割合は 78.4%にも達している。これはこの数十年でみても最高水準である。

Question 2

日本ではゆとり世代に対してある印象が定着している。しかし最近の一部の調査でゆとり世代の若者自身はそう感じていないらしいことが分かってきた。テキスト1と2を使って、ゆとり世代に対する世間の印象をまとめ、ゆとり世代特有の価値観や時代感覚に触れながら「ゆとり世代の可能性」と題し新聞への投稿文を書け。(900–1100 字)

You may make notes
in this space.

A large rectangular area containing a grid of 20 rows and 20 columns of dashed lines, intended for writing answers.

A large rectangular area containing a grid of 20 rows and 20 columns of dashed lines, intended for writing answers.

SECTION 3 – Writing in Japanese**Instructions for Section 3****Questions 3–7 (25 marks)**

Answer **one** question in 1000–1200 *ji* in **JAPANESE**.

Space is provided on the following page to make notes.

Question 3

あなたの日本の友達は、大学で英語以外の言語を専攻しようと考えている。そこで、多文化主義のオーストラリアに住むあなたに相談してきた。その友達に助言する手紙を書け。英語以外の言語を専攻することの利点と想定される困難な点を含めること。また、特定の言語を例に挙げて、説明すること。

OR**Question 4**

2013年、富士山は国連教育科学文化機関(ユネスコ)により世界文化遺産に登録された。これが富士山や人々に良い影響も悪い影響も与えるとして、世間で議論されている。双方の影響を考慮し、「世界の遺産・富士山と私たちの課題」という題で、高校生エッセイコンテストに応募するエッセイを書け。

OR**Question 5**

日本の政府の機関が、世界における日本のイメージについて調査している。その機関が、あなたにオーストラリアの人々が抱く日本のイメージについて書いてほしいと依頼してきた。それについて、好印象と悪印象の両方を含めた報告書を書け。

OR**Question 6**

あなたは、偶然ある新種の動物(または昆虫)を発見した。これは世界初で、多くのメディアの注目を集めた。そこで、ある科学雑誌を出版する会社が、あなたにその動物(昆虫)を発見した時とメディアの注目を集めたことについての体験談を書くよう依頼している。その記事を書け。

OR**Question 7**

ある日、本屋で本を見ていると、突然、見知らぬ人から話しかけられた。その人は「あなたを知っている」と言う。そこから始まる物語を書け。これは高校生小説コンテストに応募するものである。

You may make notes in this space.

A large rectangular area containing a grid of 20 rows and 18 columns of dashed lines, intended for writing.

Assessment criteria

Section 1 – Listening and responding

- the capacity to understand general and specific aspects of texts
- the capacity to convey information accurately and appropriately

Section 2 – Reading and responding

- the capacity to identify and synthesise relevant information and ideas from the texts
- appropriateness of structure and sequence
- accuracy, range and appropriateness of vocabulary and grammar (including punctuation and, where relevant, script)

Section 3 – Writing in Japanese

- relevance, breadth and depth of content
- appropriateness of structure and sequence
- accuracy of vocabulary and grammar (including punctuation and, where relevant, script)
- range and appropriateness of vocabulary and grammar